

第6学年組 社会科学学習指導案

1. 小単元名 「明治維新から世界の中の日本へ」

2. 指導観

- 本学級の児童は、日本の国づくりについて江戸幕府までの学習に取り組み、その政治の仕組みや文化、制度、人物の業績や考えについて学習を進めてきた。資料活用技能では、資料の読み取りから、既習事項を生かし、自分なりの考えを付け加えた読み取りができるようになることを目標にして取り組んできた。しかし、自分の考えを付け加えた読み取りができる児童はまだ半数ほどである。歴史学習に対する興味・関心の面では、「歴史の学習が好き」という児童とそうでない児童にはっきり分かれている。歴史学習に苦手意識を抱えている児童の多くは、調べ学習をする時にも、教科書や資料集から本文を抜き出しまる写しするだけで、そこに自分なりの解釈や考えを付け加えていくことができていない。このような実態から、児童の興味・関心を大切にしながら、正しい知識を身につける指導、資料活用技能を高め、歴史的な見方や考え方を深めるような指導が必要である。
- 本小単元では、本単元では、黒船の来航から始まる近代日本の草創期、そして、自由民権運動の高まりから大日本帝国憲法の発布、日清・日露戦争、条約改正、科学の発展を通して、徐々に国際的地位が高まっていく激動の時代を扱う。この時代の諸改革や新しい国づくりに尽くした人物の業績や考え方、新しい文化などを調べることを通して、我が国は、天皇を中心とした諸改革を行い、欧米から文化を取り入れつつ近代化を進めたことが分かるようにする。また、こうした時代の変化の中で、国民の生活はどうなっていたのか、人々はどのような意識を持ち、何を求めたのか等について学んでいくことができるような教材構成になっている。
- 本小単元の指導にあたっては、諸改革や新しい国づくりに尽くした人物の業績や考え方、新しい文化などを調べることを通して、我が国は、天皇を中心とした諸改革を行い、欧米から文化を取り入れつつ近代化を進めたことが分かるようにすることがねらいである。そのために、黒船が来航してからの日本の変化について教科書・社会科資料集を使って調べ学習を進めていく。調べ学習を進めるにあたり、その資料として一番調べやすく分かりやすい資料が教科書で、その内容をさらに詳しく調べられるのが資料集とし、教科書で調べ、資料集で深めるようにしている。歴史的事象の起きた場所や時間については、地図帳や年表を使い確認している。また、調べ学習を時間内にできるだけスムーズに進めるために、教科書に準じた書き込みプリントを準備し、学習場面を読んでいくように取り組んでいる。そして、小単元の学習の最後には、学習内容を深められるようにいつも歴史年表や歴史新聞を書かせている。今回の学習では、歴史年表や歴史新聞の発表の時に関わる著作権についての学習を、歴史新聞を書かせる前に行うようにしている。

3. 目標

- 日本の近代化の進展と近代化に努めた人々の働きや、外国との関係の変化などについて関心を持ち、意欲的に調べ、考えながら追究することができる。 (関心・意欲・態度)
- 日本の近代化の進展やそれに伴う政治・社会の仕組みの変化などについて問題意識を持ち、学習の見通しをもって追究・解決していく中で、調べたことをもとに日本の近代化の進展やそれに伴う政治・社会の仕組みの変化などについて考え、適切に判断することができる。 (思考・判断)
- 日本の近代化の進展や近代化に努めた人々の働きなどについて、資料や年表などを活用して具体的に調べることができる。また、調べた過程や結果をノートに整理して、わかりやすく表現することができる。 (観察・技能・表現)
- 日本の近代化が進められた過程やそれに伴う政治や社会の仕組みの変化、産業の発達と外国との関係の変化などをとらえることができる。 (知識・理解)

○著作権についてのきまりを知り、利用の仕方を理解することができる。

4. 指導計画 (17 時間)

- ①黒船来航の絵図や年表から、学習課題をつくる。
- ②黒船が来航してからの、日本の近代化の進展や政治・社会の仕組みの変化などについて調べる。
 - ・黒船の来航
 - ・新政府による政治
 - ・条約改正と中国・ロシアとの戦い
 - ・産業の発達と変わる人々の暮らし
- ③著作権と資料の利用の仕方 (本時)
- ④明治・大正時代を生きた人々について調べる
- ⑤歴史新聞をつくる。

5. 本時 平成 21 年 10 月 19 日 (月) 5 校時 (14:15~15:00)

6. 指導の考え方

2 学期初めに本学級児童にアンケート調査を行った結果、「著作権という言葉を知っていますか。」という問いに対し 28 人中 28 人の児童が「知っている」と答えた。これに対し、「どんなものに著作権があるか知っていますか。」という問いには 70%以上の児童が「あまり知らない」「全然知らない」と答え、「自分は著作権に気をつけて行動していると思いますか。」という問いには 80%の児童が「あまり思わない」「全然思わない」と答えた。アンケート結果からは、「著作権」という言葉は知っているが、実際に生活の中で著作権に気をつけて行動するまでには至っていないということがわかる。

これまでの学習では、5 年生の時に国語の学習で「本から引用するときには出典を書かなければならない」ということを学んでいる。しかし、実際に調べ学習をする時には、資料から文をまる写ししていることが多く、「どのような時に引用を書かなければならないか」ということも十分認識していない。今後様々な場面で自ら情報を発信していくことが多くなる子どもたちにとって、著作権について正しい知識を持つことは必要なことである。そこで、著作権の基本的な考え方・引用の仕方・出典の明示について指導し、資料の正しい利用の仕方を身につけさせたいと考える。

指導にあたっては、まず、改めて「著作権」という言葉の意味を知らせる。次に、©マークを身の回りから探す活動や著作権に関するクイズをすることによって、著作権に関する知識を深めさせていきたい。そして、実際に学習プリントを使って引用の仕方・出典の明示の仕方を教えていく。ここで、実際に自分が歴史新聞を書く時にどのように教科書や資料集を引用すればいいのかをしっかりと考えさせたい。最後に、今までに自分が書いた歴史新聞を見て、今までの自分はきちんと引用ができていたのか振り返らせることによって、今後の学習で著作権に気をつけて調べ学習をしようとする態度を形成していきたいと考える。

7. 本時の目標

- 著作権についてのきまりを知り、利用の仕方を理解することができる。
- 社会科の新聞を作るとき、資料の活用の仕方を知ることができる。

8. 本時の展開

学習活動と内容	支援
<p>1. 著作権について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○著作権を侵害された例を知り、著作権を侵害するとどのようなことになるかを確認する。 ○著作権の意味を知る。 「著作権」…作品（著作物）を作った人がもっている権利 自分の作品を他の人に勝手に使われないための権利 <p>2. 著作権を具体的に知る活動をし、めあてを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○◎マークについて ○著作権についての○×クイズをして、著作権についての具体例を知る。 <p>3. 実際に「黒船来航」の資料を見て資料の使い方を考える。 著作権について知り、資料の使い方を考えよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>アメリカ合衆国の大統領からの手紙をもって、7か月かけて日本にやってきました。条約を結んでわが国の船に石炭や食料をほきゅうしてもらいたいし、貿易も行いたい。いつまでも返事がな いときは、江戸に向けて軍艦から大砲をうちこみますよ。 (調べ学習が楽しくできる社会科資料集, 新学社)</p> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: fit-content; margin: 0 auto; padding: 5px;">引用部分はどこ？</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>1853年、浦賀（今の神奈川県）にアメリカ合衆国のペリーが軍艦をひきいてやってきました。条約を結んでわが国の船に石炭や食料をほきゅうしてもらいたいと考えていました。そのことから、ペリーは自分の国の船に石炭や食料をほきゅうしてもらうために、日本と条約を結びたかったということがわかりました。返事がな いときは、江戸に向けて軍艦から大砲をうちこみますよという言葉からもわかるように、ペリーは強い態度で、日本に開国を求めてきたようです。</p> </div> <p>5. 今日の学習を振り返り、資料を使う時に気をつけることをまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>①引用であることがわかるように、引用した部分を「」でくくり自分の考えと区別する。 ②出典を必ず書く。 ③正確に引用する。 ④必要な部分だけを引用する。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○映画館で撮影禁止をうったえるポスターなどを見せて、著作権を侵害してはいけないということを教える。 ○自分の作文や絵が勝手に使われたらどうか考えさせ、具体的にイメージをもたせるようにする。 ○身のまわりから◎マークを見つけさせることでいろいろなものに著作権があることに気付かせるようにする。 ○クイズをしていく中で、著作権について具体的に理解できるようにする。 ○引用部分と自分の考えの部分をきちんと区別させることで、どこをどう写しているのかを確認させる。 ○引用する時に気をつけること（かぎ・資料名の表示）・自分の文章が中心であることの必要性を知らせることで、資料を使うときはどう使えばいいのかを知らせる。 ○調べ学習で資料を用いるときは、自分のノートに下調べとしてまる写しにすることは構わないが、それをそのまま発表には使えないことを知らせる。 ○自分たちが書いた新聞を見て、今までの自分が著作権を侵害していないか振り返らせる。 ○6年生にとって特に身近な引用の仕方について振り返り、大切なことを確認させる。



6 学年 社会科学学習プリント

名前 ()

めあて

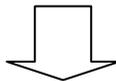
著作権 . . .

①の資料を使って、②の歴史新聞の一部を書きました。資料のどの部分を使って新聞を書いたでしょうか。

① ペリーは何を要求したの？

アメリカ合衆国の大統領からの手紙をもって、7 か月かけて日本にやってきました。条約を結んでわが国の船に石炭や食料をほきゅうしてもらいたいし、貿易も行いたい。いつまでも返事がないときは、江戸に向けて軍艦から大砲をうちこみますよ。

(調べ学習が楽しくできる社会科資料集, 新学社)



② 1853 年、浦賀（今の神奈川県）にアメリカ合衆国のペリーが軍艦をひきいてやってきました。条約を結んでわが国の船に石炭や食料をほきゅうしてもらいたいと考えていました。そのことから、ペリーは自分の国の船に石炭や食料をほきゅうしてもらうために、日本と条約を結びたかったということがわかりました。返事がないときは、江戸に向けて軍艦から大砲をうちこみますという言葉からもわかるように、ペリーは強い態度で、日本に開国を求めてきたようです。

今日の学習で